



祐天寺てらこや (東京)



創刊号

発行 浄土宗児童教化連盟

事務局  
〒590-0935  
大阪府堺市神明町東  
3-1 4C 法伝寺内

TEL・FAX  
072-233-5354

編集室  
〒614-8015  
京都府八幡市八幡旦所1  
念佛寺内

E-mail  
puk-puk@wf6.so-net.ne.jp



ほんぽこ和尚の **心** がやさしくなるお話

みんなは学校や家の中で悪口を言ったり、また言われたりしたことはないかな。面と向かって自分が傷つくことを言われると悲しいよね。逆に、つい腹が立って人を悪く言うこともあるんじゃないかな。

また、そんなつもりで言ったわけではないのに、知らず知らずのうちに人を傷つけていることもあるだろう。悪口は、言うときも楽しいかも知れないけれど、言われるのはいやなものだよ。

むかしむかし、お釈迦さまがおられた時にこういうお話があるんだ。お釈迦さまのところに一人の男がすごい勢いでどなりこんできて、さんざん悪口を言いまくった。お釈迦さまはまだ黙って聞いておられたけれども、男が少し静かになったところで男に向かって言ったそうさ。

「あなたの家にお客さんが来たら、何か料理をごちそうすることがあるだろう?」

「ああ、もちろんだ」

「もしその時、お客さんが出された料理を食べなかつたら、それはだ

れのものになるかな」

「食べてもらえなかつたら、それは私のものになる」

そこでお釈迦さまがおっしゃった。

「あなたはさつき私にいろいろ悪い言葉をならべてくれたが、私はそれをもらわないよ。だからその悪口は全部あなたのものになるんだ。もし私が悪口を言われて言い返したりしたら、その悪口は私のものになるかも知れないが、私は受け取らないよ」

相手が悪く言うよりも、人をほめたり、「ありがとう」とか「ごめんなさい」といった言葉を使う方が自分が美しく見えるよね。そういうおくりものなら、喜んでもらってもらえるよ。

みんなも美しい言葉のプレゼントをあげられるように心がけてみないかい。

じゃあ、またね。

合掌 (手を合わせる)

(浄土宗社会国際局長 松本眞岳)

言葉のおくりもの



みんな、できるよ!

# いざという時のために 手当ての方法(やり方)



イラスト by 池田 敦

## 第一回



LSFA  
インストラクター  
トレーナー  
吉田一心

皆さんが病気になる、病院へ行く  
と、先生は必ず胸や背中に手を当て  
て調べてくれますね。それが「であ  
て」です。

苦しそうな友だち、倒れている友  
だちがいたら手を当てて、みてあげ  
よう。

でも、いきなり自分の手を当てて  
みる前に、かならず次の二つのこと  
をやりよう。

①まず、深呼吸をして落ち着こう。  
次に、

②まわりと友だちのようすを見て  
みよう。

あぶないものがないかどう  
か、まわりや上を見わたそう。

そして友だちは、  
声は出ているか？

どこか動いているか？  
血が出ているところはない  
か？

ここまですでにできたなら、次のステップ  
へ(次号)

\*これから毎号続いていくよ。コピ  
ーをとってノートにはっておくと  
いいよ。

## ナムナム 質問箱



**質問** お地藏さまはどうしてエプロンをして  
いるの? (京都 小学5年女子)

### 答え

いい質問だね。  
それじゃあ、お地藏さまの  
ことをお話ししよう。子ど  
もたちみんなを守ってくれるのがお  
地藏さまなんだ。たしかにエプロン  
のようなものをつけているね。「ま  
えかけ」とか「よだれかけ」とも言  
うよ。

どうしてエプロンをつけているの  
か…。お年寄りの人からこんな話を  
聞いたことがあるんだ。  
昔は小さな子どもが病気で死んで  
しまうことが少なくなかったそうだ  
よ。お母さんは、次の世に旅立った  
子どものことを思い、自分の服を少

し切り取ってお地藏さまの肩にかけ  
たんだ。

「お地藏さまはここにいられるよ」  
「お母さんはここにいられるよ」  
子どもたちが行き先をまちがえな  
いように、できるだけ明るい色を選  
んでね。

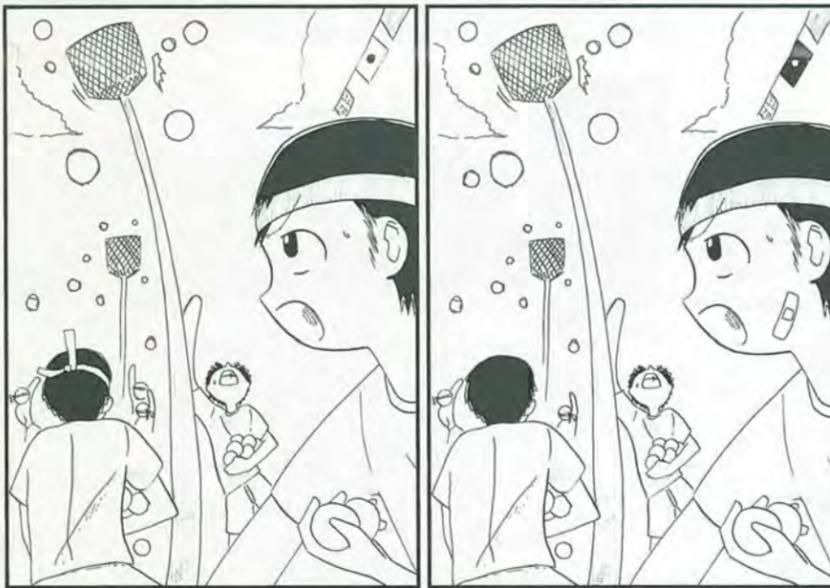
それがお地藏さまのエプロン、ま  
えかけになったみたいだよ。

町かどでお地藏さまの前を通った  
ら、手を合わせて拝もうね。

子どもたちみんなを守ってくれる  
お地藏さま。

お母さんの願いがこもるお地藏さ  
ま。

## みんなで 考えよう ちがいがし



運動会の季節だね。左の絵と右の絵はちがうところが全部で5  
つあります。よくさがして見つけてね。わかった人は答えをハ  
ガキに書いて送ってください。クイズの答えだけじゃなくて、新  
聞の感想も書いてください。FAX・Eメールでもいいよ。

正解者の中から抽選で50人の子どもたちに記念品をプレゼン  
トします。正解および当選者は次号(平成18年1月発行)で発  
表します。

しめきりは11月15日(火)です。

送り先: 〒614-8015 京都府八幡市八幡旦所1 念佛寺内  
「コドモタイムズ クイズ」係  
FAX 075-983-8895  
Eメール puk-puk@wf6.so-net.ne.jp

\*住所・氏名・年令・学年を忘れないで書いてください。

《浄土宗児童教化連盟では今年一月二日〜九日に「青少年ゴッゴッ仏跡ツアー」を実施。青少年がタイ・インド・ネパールを訪れ、様々な国際交流を行いました。その体験記をシリーズでお送りします。》

### 青少年ゴッゴッ仏跡ツアーに参加して・その一

長野 高校三年 倉崎祥史



お正月に「インドに行くぞ」と言われ、えっと思っただけで、インドに興味もあつたので行くことにしました。

初めての海外旅行だったのにお正月に「インドに行くぞ」と言われ、えっと思っただけで、インドに興味もあつたので行くことにしました。初めての海外旅行だったのにお正月に「インドに行くぞ」と言われ、えっと思っただけで、インドに興味もあつたので行くことにしました。

に、親からいきなりトランクをわたされ荷物を用意しろと言われましたが、何をどう用意してよいのかわからなくて困りました。

長野は大雪で、雪かきをしてからの出発で大変でした。関西国際空港では、どんな方々といっしょに行くのか緊張していました。結団式の時に普通の観光旅行とはちがうと改めて感じました。

まず最初にタイのバンコクに着きました。バンコクでは日本車が多く町中はずらとにぎやかです。

タイの大学を敬訪問に行きましたが、とてもきれいで設備の整った学校です。先生方からスライドを使って生徒の数や学部の数、学ぶ内容などの説明を受けました。日本の生徒はいないので勉強に来ないかと、電子工学の先生から



朝、ベンガル仏教協会の子どもたちとの交流会が行なわれました。小学校では大勢の子どもたちが迎えに来て、歌や踊りを披露してくれました。「チューリップ」を日本語でも上手に歌ってくれました。ほくらも何かしなくてはと、「ふるさと」を歌いました。合唱部出身の自分としては、きちんと準備をしてから披露したかったです。最後に見教連と団員のみなさん、裾花小学校六年三組の児童で持ちよった文房具と折紙や絵をプレゼントしました。

(つづく)

## みんなのページ



「おとうさん」



「こんな作ったよー」 西成 良樹

### 島の海

去年の夏、沖縄に行き、初めて沖縄の海を実際に見てとても透き通っていることに驚きました。普段近くで見ている海は暗く重い感じがし、紺一色で塗りつぶしているような感じですが、沖縄の海の青さはまるで何色もの絵の具を使って描いたような色でした。

そして海の生き物もまたさまざまな色をしていました。

海の中では、自分の吐く息の音が少し聞こえるだけで、他には何にも聞こえない神秘的な世界に、普段僕たちがいる世界から一転しているのです。

僕はこの音の無い空間を泳げる時が一番好きかも知れません。

そして沖縄周辺の島々でのこの空間では、もちろん車や工場の騒音は聞こえないし、都会の海では決して見ることのできない魚や、何十年何

大阪 高校二年 糟谷 拓

百年も前からその空間を生きている珊瑚を見るのができます。

でも最近になっていろんな場所の海が汚染されてきています。

僕はこの沖縄の海がいつまでも必要としている人たちのためにも、まですることができるのはポイ捨てを止めていくことだと思えます。

だれもが一度はポイ捨てをしたことがあるかと思えます。僕ももちろんポイ捨てをしたことがあります。

僕たちができることは小さなことから一つずつゴミを減らして、今までの汚染された環境を変えていくことです。

一度自分の身の回りを見つめ直してください。

一つは自分で環境のためにできることがあるはずです。

環境が変われば、今まで以上に美しい海を見ることが出来ます。

君も達人になれる

# 仏事をマスターしよう!

## 第1回 合掌(がっしょう)

お寺やお墓、おうちのお仏壇にお参りする時、両手を合わせることにあります。これを「合掌(がっしょう)」といいます。合掌にはいろいろな形があります。みなさんの中には、指をからめたり、手をひっくり返したりされている仏さまを拝んだことがあるかもしれません。実はその不思議な手の組み方も、合掌の一種なのです。

日頃の私たちは、そのような難しい合掌をする必要はありません。両手の指をまっすぐにのばし、両手をぴったりと合わせ、胸の前につけて、少しかたむけます。指を交えたり、指と指の間にすき間をあけてりしないようにしましょう。

また合掌の姿には、拜む人の心が表われるともいいます。最初のうちはしっかり手を合わせ、心がおろそかになつてくると、次第に指が曲がってきたり、手と手の間にすき間ができてきたり、合掌している手が下がってきたりします。注意しましょう。

心をこめてしっかりと合掌、南無阿弥陀仏と声を出してお唱えする、これがお参りの基本です。



## 名前募集!

いい名前をつけてね!

『イキイキ☆コドモタイムズ』のマスコットキャラクターの名前を考えてください。

このキャラクターは仏教を聞かれたお釈迦さまがお生まれになった時に右手を天に、左手は地を指さし「天上天下唯我独尊」と言われたお姿を表わしています。

応募していただいた中から選考の上、名前を決定します。なお採用された方にはすてきな記念品をプレゼントします。どんどん応募してください。しめきりは11月30日(水)です。新聞の感想も書いてください。



応募先 〒614-8015 京都府八幡市八幡旦所1 念佛寺内  
「コドモタイムズ 名前募集」係

FAX 075-983-8895

Eメール puk-puk@wf6.so-net.ne.jp

\*住所・氏名・年令・学年を忘れないで書いてください。

## これも仏教の言葉だよ!

### 我慢(がまん)

みなさんはがまん強いですか。がまん(我慢)：これはしんぼう強くたえてがんばることです。よね。

これはもともと仏教の言葉なんです。しかも意味が全然ちがって、自分をえらいと思つて他人を軽く見ることですから、あまりいい意味ではありません。

それが負けん気が強いとなり、今ではしんぼう強くがんばるというように意味が変つて使われるようになりました。

みなさんは、今の意味のがまん強い子になってください。

## 募集ついでに!

◎「イキイキ☆コドモタイムズ」では定期購読者を募集しています。購読料は年間五〇〇円(年四回発行・送料込)です。なお定期購読お申込みの皆さんは、本年度分(三回)を無料と記念品(おしゃかさまスケール/デザインが変わるものさし)をプレゼントします。この機会にお申込みください。

◎みなさんの作品を待っています。詩・作文・絵・うれしかったこと、悲しかったこと・好きな言葉・好きな文字など、どんどん送ってください。◎仏教やお寺、お坊さんに関する質問を受付中です。紙面で回答します。◎それぞれ採用された方には素敵な記念品をお送りします。



## ぶくぶく編集室

\*申込み・応募先は、〒614-8015 京都府八幡市八幡旦所1 念佛寺内「コドモタイムズ編集室」までお願いします。  
Eメール: puk-puk@wf6.so-net.ne.jp

編集長のぶくぶくです。この新聞を作っている浄土宗児童教化連盟というのはね、子どもたちにナムアミダブツとお念仏を唱えてもらうために色々な活動している団体なんだ。ここにはね、ぼんぼこ和尚や昌ちゃん・てんでん・まいまい・エノモン・まあじやんなどなど、おもしろいおじさんやおねえちゃんが、みんなのために一生懸命楽しい新聞を作っています。期待しててください。ではでは次回をお楽しみに。